

横山の自然：花ときのこ

横山の森には四季折々に花を咲かせる植物がたくさんあります。横山展望台エリアの草花を採取することは禁止されていますが、遊歩道から眺めて楽しむのはかまいません。

よく知られている横山の花のひとつはコバノミツバツツジです。ツツジの仲間であるこの落葉低木は、毎年4月から5月にかけて、横山ビジターセンターから英虞湾展望台までの遊歩道沿いで鮮やかなピンク色の花を咲かせます。また、創造の森エリアにはサクラの木立とアジサイ園もあります。

横山周辺で見られる他の花には以下があります。

- **ササユリ**：6月から7月にかけて白か淡いピンクの花を咲かせる
- **センブリ**：秋に小さな白い花を咲かせる；木々の天蓋が薄い遊歩道付近で開花する
- **キキョウ**：夏に青い花を咲かせる
- **ヒメコウホネ**（コウホネの一種）：夏に黄色の花を咲かせる

キノコなどの菌類は、有機物を分解して他の生物が利用できる栄養分に変えるという森にとって重要な役割を担っています。6月から9月の雨の多い時期に最もよく見られますが、一年のどの時期にも見ることができます。

横山地域でよく見られるキノコには以下があります。

- **Earthstar**：日本語で「ツチグリ」と呼ばれ、特徴的な星形の襟部を持つ
- **Shelf fungus**：その形状から日本語で「サルノコシカケ（monkey seats）」と呼ばれる菌類の総称
- **Turkey tail**：日本語で「カワラタケ（tile mushrooms）」と呼ばれる